

認知症作業療法 活動報告（概要）

広島県作業療法士会では、士会役員及び事務局員、大学等学術経験者・認知症疾患医療センター設置施設の会員で社会貢献部内に認知症OT推進担当を設けている。

認知症**OT**推進担当部員を中心に認知症生活行為支援指導者研修を運営し人材育成を軸とし、関係機関からの要請に基づいた会員の紹介などの連携、福祉祭りなどの活動を通じた啓発活動や相談を行っている。

認知症生活行為支援指導者研修

認知症生活行為支援指導者研修ではテーマ**A~F**、認知症アップデート研修、実践者研修の全テーマを二次医療圏域**4**か所に振り分け各**1**回開催する。

研修は下記の運用マニュアル・研修シラバスをもとに運営している。

一般社団法人 広島県作業療法士会認知症生活行為支援指導者研修制度運用マニュアル・研修シラバス 第1版

<http://hiroshima-ota.kir.jp/wp-test/wp-content/uploads/2018/08/6964eb027e9d1a21f74ba70303cfad7f.pdf>



私たちは、作業療法士の学術・技能の向上に努め、リハビリテーションの普及発展を図ることにより、広島県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与することを目的とした団体です。



人材育成状況（平成29年度末）

会員数 1532名
(平成30年10月10日現在)

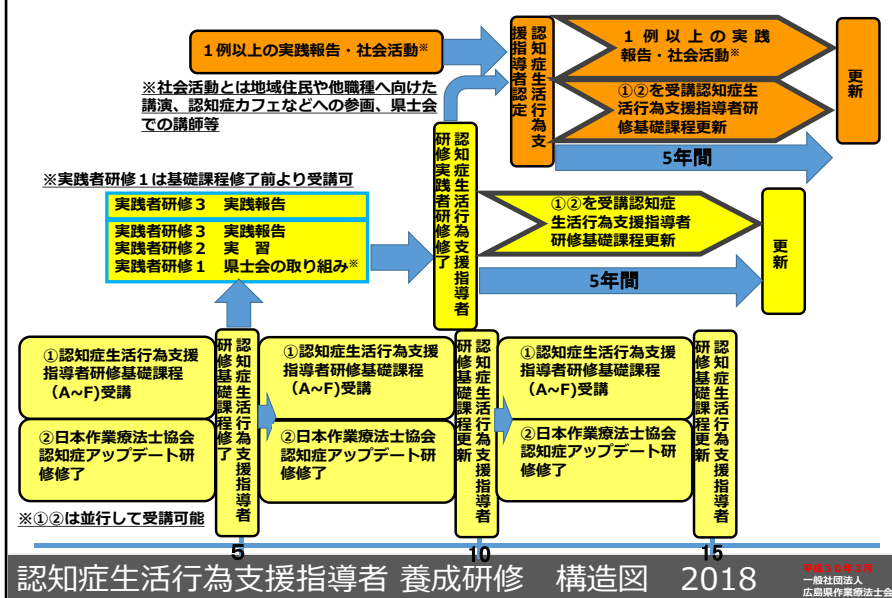
認知症生活行為支援指導者
3名

認知症生活行為支援実践者
12名

基礎課程修了者
259名

認知症アップデート研修修了者
307名

※各二次医療圏域に実践者以上
が1名以上育成出来ている



関係機関との連携・啓発活動

- ・ 関係機関からの要請に応じた会員の紹介等、情報の提供や共有
- ・ 若年性認知症支援ネットワーク会議委員への会員派遣
- ・ 認知症の人と家族の会との連携、活動への会員の派遣
- ・ 福祉祭り等での県民への啓発、相談活動（右写真）



今後の展開

- ・ 認知症生活行為支援指導者研修の継続的な運用及び、見直しによる人材育成の継続
- ・ 関係機関との連携による認知症に係る活動の推進
- ・ 関係機関、県民からの要請に迅速に対応できる運営体制の検討